

学校施設利用団体のみなさまへ

学校施設利用団体のみなさまにおかれましては、この間、学校施設を活用した各種活動について、緊急事態宣言等の状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を一時的に中止いただく等、ご配慮いただいていることと存じます。

緊急事態宣言の解除を受けて、大阪市立の各学校におきましては、段階的に学校の教育活動を再開し、6月15日より通常授業を再開しましたが、現在も日々、消毒の徹底や子どもたちの体調確認の徹底など、新型コロナウイルス感染症対策に最大限配慮しながら教育活動を行っており、また、例年より短い期間で年間のカリキュラムを実施する必要があるなど様々な制約がある中で、子どもたちの学びと育ちを確保するため、各学校現場で尽力して取り組んでいるところです。

そのため、地域活動等を目的とする学校施設の活用再開にあたりましても、学校の教育活動への影響が生じないようこれまで以上にご配慮、ご協力をお願ひいたします。

具体的には、学校運営上の感染症対策（学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル）に準じて、地域活動等を目的とする学校施設の活用再開にあたって順守いただきたい「学校施設の消毒ルール」を別紙のとおり定めました。学校施設利用団体のみなさまにおかれましては、この「学校施設の消毒ルール」を確実に実行していただくことを利用いただくための条件とさせていただきますので、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。また、参加者は、自身が感染したことが判明した場合には、すぐに使用責任者にご連絡いただき、連絡を受けた使用責任者はすぐに区役所及び施設を使用した学校へご連絡ください。

なお、児童・生徒の安全確保と学校教育活動の推進確保を最優先とするため、教育委員会といたしましては、「学校施設の消毒ルール」を順守いただいていない利用団体につきましては使用許可の取り消しを行わざるを得ませんので十分にご理解とご留意をいただきますよう重ねてお願ひいたします。

子どもたちが安心できる教育環境の確保、今後の限られた期間における学校教育の確実な実施のため、ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

大阪市教育委員会

＜学校施設の消毒ルール＞

【使用施設にかかる消毒の実施】

- 万が一、新型コロナウイルスが学校内に持ち込まれた場合でも、子どもたちへの感染の危険が及ぼす、また、子どもたちの学校の使用に影響が生じないよう、使用箇所の徹底した消毒をお願いします。
- 消毒が不十分ですと、利用者の中に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、学校を休校にして、改めて消毒作業を実施する必要が生じ、学校の教育活動に影響を及ぼしますので、くれぐれもよろしくお願ひいたします。
- 学校施設利用団体は、使用施設・消毒必要箇所等について、使用施設消毒チェックリスト（別紙2）を学校と調整のうえ、作成してください。同じ施設を継続して使用する場合においては、再度の調整は必要ありません。
- 学校施設利用団体は、施設を使用した後、使用施設消毒チェックリストにしたがって消毒・清掃を行い、作業完了後、チェックリストの消毒報告欄に記載し、使用日から4週間以上保管してください。
- チェックリストに記載のない箇所についても、手で触れた箇所、飛沫が飛んだ可能性のある箇所は必ず消毒してください。

【その他】

- 使用施設以外は、手を触れないようにしてください。（手を触れた場合は消毒してください。）
- 入校前や施設使用前後、トイレ使用後などは、必ず石鹼による手洗いや手指用アルコールによる消毒を行ってください。
- トイレ使用時は、飛沫を防ぐため、必ず便器の蓋を閉めて流すようにしてください。
- 施設使用に係る対応に必要な物品（非接触体温計、消毒用アルコール、石鹼、マスク、消毒液（0.05%次亜塩素酸ナトリウム水溶液など）、消毒用手袋、ペーパータオル、ごみ袋など）は、使用責任者又は利用団体においてご準備いただき、使用後のごみは必ずお持ち帰りください。
- 参加者は、自身が感染したことが判明した場合には、すぐに使用責任者にご連絡いただくようご徹底ください。使用責任者はすぐに区役所及び施設を使用した学校へご連絡ください。
- 本「学校施設の消毒ルール」の記載事項や学校からの要請について、ご協力いただけない利用団体については、使用許可の取消しを行いますので、ご留意ください。

※なお、すでに学校と十分に調整されて了解を得ている場合は、これまでの取扱いを妨げるものではありませんが、以降は本「学校施設の消毒ルール」の順守をお願いします。

消毒要領 ※「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」と同旨

教室・トイレ・体育館など、目的外使用で使用した場所は、施設の使用後、ペーパータオル等に十分に消毒液（0.05%次亜塩素酸ナトリウム水溶液、一部の界面活性剤を含む家庭用洗剤等）を含ませて清掃を行うこと。特に多くの使用者が手を触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）や共用物は、念入りに消毒を行うこと。濡れている場合は、水分を十分に拭き取った後、消毒を行うこと。

また、トイレや洗面台は、家庭用洗剤を用いて洗浄すること。

スプレーボトルでの噴霧は、ウイルス飛散のおそれがあるので、行わないこと。

消毒にあたっては、使用する製品の新型コロナウイルスへの有効性や安全性、使用方法等について、信頼できる情報源や取扱説明書等をよく確認のうえ、適切に行うこと。

消毒を行う際は、十分に換気を行うこと。

また、消毒作業中に、目、鼻、口、傷口などを触らないようにすること。

(1) 次亜塩素酸ナトリウムを使用した消毒

- ・次亜塩素酸ナトリウム水溶液を使用する場合は、手袋を使用すること。
- ・材質によっては、拭いた場所が変色や腐食する（さびる）おそれがあるので、消毒後は水拭きし、乾燥させること。
- ・手指や皮膚の消毒には使用しないこと。
- ・製品の使用上の注意を熟読のうえ、正しく取り扱うこと。

*後掲「参考 0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方」も参照

(2) 新型コロナウイルスに対して効果が確認された界面活性剤を含む洗剤を使用した消毒

- ・効果が確認された界面活性剤を使用している洗剤の最新のリストが独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）のホームページに公開されているので、参照のこと。
<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>
- ・使用する際は、経済産業省及びNITEが作成したパンフレット「ご家庭にある洗剤を使って身近な物の消毒をしましょう」（後掲）を参考とすること。

(3) エタノール（アルコール）を使用した消毒

- ・エタノールをペーパータオル等に含ませ、消毒対象を拭き、そのまま乾燥させること。
- ・揮発性が高く、引火しやすい性質があるため、電気スイッチ、熱を持った調理機器等への直接の噴霧は故障や引火の原因となるので注意すること。

参考

0.05% 以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方



【使用時の注意】

- ・換気をしてください。
- ・家事用手袋を着用してください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。
- ・商品パッケージや HP の説明をご確認ください。

以下は、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品の例です。
商品によって濃度が異なりますので、以下を参考に薄めてください。

メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター キッチンハイター	水 1L に本商品 25mL (商品付属のキャップ 1 杯)* ※次亜塩素酸ナトリウムは、一般的にゆっくりと分解し、濃度が低下していきます。購入から 3ヶ月以内の場合は、水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯) が目安です。
カネヨ石鹼	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)

(プライベートブランド)

ブランド名 (五十音順)	商品名	作り方の例
イオングループ (トップバリュ)	キッチン用漂白剤	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
西友 / サニー / リヴィン (きほんのき)	台所用漂白剤	水 1L に本商品 12mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
セブン&アイ・ ホールディングス (セブンプレミアム ライフスタイル)	キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)

*上記のほかにも、次亜塩素酸ナトリウムを成分とする商品は多数あります。
表に無い場合、商品パッケージや HP の説明にしたがってご使用ください。

新型コロナウイルス対策

ご家庭にある洗剤を使って 身近な物の消毒をしましょう

洗剤に含まれる界面活性剤で新型コロナウイルスが効果的に除去できます

試験で効果が確認された界面活性剤

- ▶ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム
- ▶ アルキルグリコシド
- ▶ アルキルアミンオキシド
- ▶ 塩化ベンザルコニウム
- ▶ ポリオキシエチレンアルキルエーテル

※ 新型コロナウイルスに、0.05～0.2%に希釈した界面活性剤を20秒～5分間反応させ、ウイルスの数が減少することを確認しました。詳細はNITEウェブサイトをご覧ください。
<https://www.nite.go.jp/information/osirase20200522.html>

※ これ以外の界面活性剤についても効果がある可能性があり、さらに確認を進めています。

既に一部の試験機関では効果ありとされたもの

- ▶ 塩化ベンゼトニウム
 - ▶ 塩化ジアルキルジメチルアンモニウム
- (更なる試験・検討を経て最終的な評価が行われます)

ご家庭にある洗剤に、どの界面活性剤が使われているか確認しましょう

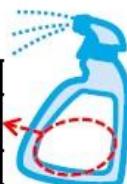
- 効果が確認された界面活性剤が使われている洗剤のリストを
NITEウェブサイトで公開しています（随時更新）
<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>



- 製品のラベルやウェブサイトなどでも、
成分の界面活性剤が確認できます。

※ 製品本体の成分表は関連法令に基づいて表示されているため、
含有濃度などの条件によっては、ウェブサイト上のリストと
製品本体の成分表が一致しないことがあります。

品名	住宅・家具用合成洗剤		
成分	界面活性剤（0.2% アルキルアミンオキシド）、泡調整剤		
液性	弱アルカリ性	正味量	400ml



使用上の注意を守って、正しく使いましょう

- 身近なものの消毒には、台所周り用、家具用、お風呂用など、
用途にあった「住宅・家具用洗剤」を使いましょう。
- 安全に使用するため、製品に記載された使用方法に従い、
使用上の注意を守って、正しく使いましょう。
- 手指・皮膚には使用しないでください。



本資料は、2020年5月24日現在の知見に基づいて作成されたものです。随時修正されます。

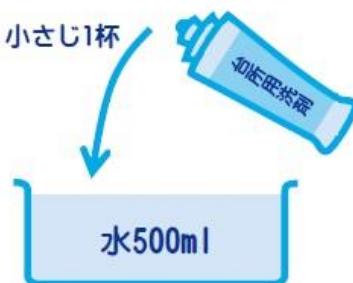
「住宅・家具用洗剤」が手元にない場合には？

台所用洗剤を使って代用することもできます。

「住宅・家具用洗剤」を使用する場合は、製品に記載された使用方法どおりに使用してください。

(1)洗剤うすめ液を作る。

たらいや洗面器などに500mlの水をはり、台所用洗剤*を小さじ1杯（5g）入れて軽く混ぜ合わせる。
(*食器洗い機用洗剤ではなく、スポンジなどにつけて使う洗剤です。有効な界面活性剤が使われているかも確認しましょう。)



(2)対象の表面を拭き取る。

キッチンペーパーや布などに、(1)で作った溶液をしみこませて、液が垂れないように絞る。汚れやウイルスを広げないように、一方向にしっかり拭き取るようにする。



(3)水拭きする。

洗剤で拭いてから5分程度たつたら、キッチンペーパーや布などで水拭きして洗剤を拭き取る。特に、プラスチック部分は放置すると傷むことがあるので必ず水拭きする。

(4)乾拭きする。

最後にキッチンペーパーなどで乾拭きする。

安全上の注意

- 手指・皮膚には使用しないでください。
- スプレー・ボトルでの噴霧は行わないでください。

効果的に使うためのポイント

- 作り置きした液は効果がなくなるので、洗剤うすめ液は、その都度使い切りましょう。
- 台所用洗剤でプラスチック部分（電話、キーボード、マウス、TVリモコン、便座とフタ、照明のスイッチ、時計など）を拭いた場合、そのまま放置すると傷むことがあります。必ず、すぐに水拭きしましょう。
- 塗装面（家具、ラッカー塗装部分、自動車の塗装面など）や、水がしみこむ場所や材質（布製カーテン、木、壁など）には使わないでください（シミになるおそれがあります）。